

## E1A 新東名高速道路（海老名南 JCT～御殿場 JCT 間）連絡調整会議（第 1 回） 議事概要

1. 日 時：2017 年 8 月 9 日（水） 11：00～12：00

2. 出席者：

関東地方整備局 道路部 道路計画第一課長  
関東地方整備局 横浜国道事務所長  
中部地方整備局 道路部 道路計画課長  
中部地方整備局 沼津河川国道事務所長  
神奈川県 県土整備局 道路部長  
静岡県 交通基盤部 道路局長  
海老名市 建設部長  
厚木市 道路部 国県道調整担当部長  
伊勢原市 都市部 国県事業推進担当部長  
秦野市 建設部長  
松田町 まちづくり課長  
山北町 参事兼農林課長  
小山町 経済建設部長  
御殿場市 都市建設部長  
中日本高速道路(株) 東京支社 建設事業部長  
中日本高速道路(株) 東京支社 厚木工事事務所長  
中日本高速道路(株) 東京支社 秦野工事事務所長  
中日本高速道路(株) 東京支社 沼津工事事務所長

3. 議事：

- (1) 新東名高速道路（海老名南 JCT～御殿場 JCT 間）連絡調整会議の設置
- (2) 新東名高速道路（海老名南 JCT～御殿場 JCT 間）の概要
- (3) 新東名高速道路（海老名南 JCT～御殿場 JCT 間）の進捗状況と課題
- (4) 意見交換

4. 議事概要：

（中日本高速道路(株)より説明）

- 海老名南 JCT～厚木南 IC 間は、今年度内の開通に向け舗装・設備工事に着手した。
- 厚木南 IC～伊勢原北 IC 間については、幹線道路や鉄道を横断して架設する橋梁が複数あることから、道路交通への影響や安全に十分配慮して進める必要がある。
- また、厚木南 IC～伊勢原北 IC 間については、埋蔵文化財の調査において、旧石器時代の遺跡が確認されるなど、深さ方向に調査範囲が拡大した。
- これらのことから工程を精査しており、厚木南 IC～伊勢原北 IC 間の開通時期については検討が必要な状況である。
- 伊勢原北 IC～御殿場 JCT 間は、用地取得の難航、工事用進入路の確保難航に伴う工事着手の遅延など、厳しい条件の中で膨大な量の埋蔵文化財調査や工事を進めているが、2020 年度までの全線開通を目指し事業を進めていく。

(神奈川県より説明)

- 埋蔵文化財の調査において、調査面積も非常に大きく、また、旧石器時代の遺跡が確認されるなど、垂直（深さ）方向に調査範囲が拡大したことから、発掘作業を優先するとともに、調査体制を強化し調査を進めている。
- 現在までに本線に係る主要な埋蔵文化財調査を完了し、引き続き残る調査箇所についても、中日本高速道路と工程調整を図りながら、早期完了に向け鋭意調査を推進する。

(意見交換)

- 沿線自治体より、次のような意見があった。
  - ・ 新東名高速道路の工程が厳しい現場の状況について理解したが、地元の期待が大きいことから、海老名南 JCT～厚木南 IC 間の 2017 年度内の開通と 2020 年度までの全線開通に向け、事業を推進していただくことについて強く要請する。
  - ・ 用地取得、必要な調査等について、引き続き事業に協力する。
- 課題を関係者と共有し、沿線自治体の協力も得ながら進めるとともに、厚木南 IC～伊勢原北 IC 間の工程等について早急に検討を進め、一日も早い開通に向け事業を推進していくことを確認した。

以 上